

遊び・非行から不登校となった生徒の事例

1. はじめに

学校外の遊興に興味が引かれ、万引き・喫煙などの不良行為や非行に走った中学3年生のB男が、担任からの温かい指導援助や家庭環境の改善が図られる中で、今までの自分の生活に目を向け、立ち直ろうとする気持ちを持ち始めた事例である。

2. 問題の概要

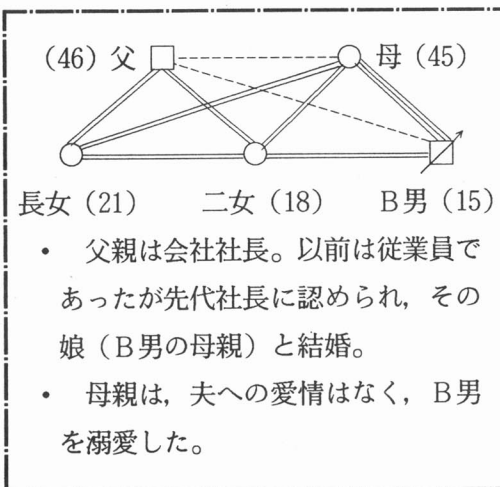
B男は入学してから半年間は問題なく過ごした。しかし、中学1年の後半から頭痛や腹痛など身体の不調を訴え始め、欠席が目立つようになった。

中学2年になると、乱暴な言葉遣いをするようになり、非行仲間に入っていることや万引きしていたことが、級友の話から分かってきた。夏休み後、連続した欠席が増えたため、担任が家庭訪問をし母親と相談したり、本人への指導をしたりしたが欠席は続いた。

10月の中ごろ、担任が、父親に会い今までの経過を説明したところ、父親は激怒し、B男と母親に暴力をふるった。父親はB男のことについて、何一つ母親から知らされてはいなかった。この日を境にB男は父親と対立し、まったく登校しなくなった。B男の生活は昼夜逆転し、暴走族、シンナー吸引、喫煙、不純異性交遊、家庭内暴力など非行の激しさが増していった。

3. B男のプロフィール

(1) 家庭状況



(46) 父 (45) 母

長女 (21) 二女 (18) B男 (15)

- 父親は会社社長。以前は従業員であったが先代社長に認められ、その娘（B男の母親）と結婚。
- 母親は、夫への愛情はなく、B男を溺愛した。

(2) 生育歴

- 小太り
- ぜんそく
- 身体に関してコンプレックスを持つ
- 運動が苦手である
- 成績が振るわない
- わがまま
- 末っ子
- 離乳が遅かった（1歳半まで）

(3) 友人関係

- 3人の仲間（同じクラス）
万引き・喫煙を繰り返す
- 暴走族リーダーAに強いあこがれを持つ
- 特定の女子の友達を持つ